

Lecture 授業No.9 教科書P.24～

T.Q.「ポリスの民主政は今日とどう異なるか？」

向出 研司：石川県立寺井高等学校
地歴公民科教諭

直前予習 T. A. キーワード確認

教科書 P.24・25

T.Q.「ポリスの民主政は今日とどう異なるか？」

1. ペルシア戦争
2. デロス同盟
3. 無産市民
4. ペリクレス
5. 民会
6. 抽選

クリックで全て



今日の授業ラインナップ。

1. ペルシア戦争の原因と経過
2. アテネの全盛と民主政の完成
3. ペロポネソス戦争とアテネの衰退

(3) **ペルシア戦争** T.Q.「ポリスの民主政は今日とどう異なるか？」 教科書P.24～

原因:イオニア地方のギリシア人の反乱をアテネが支援

1 **ダレイオス1世**による →怒ったペルシアがギリシアに侵攻

B.C.492 | 第1回 ※1

B.C.490 | 第2回...**マラトンの戦い**でアテネ○ ※2

2 第3回

B.C.480 | **サラミス海戦**でアテネ○ ※3

B.C.479 | **プラタイアの戦い**でアテネ・スパルタ ○

④ **ポリスの明暗**

(1) B.C.5C前半、**ペリクレス**によりアテネ全盛 ※4

1 **デロス同盟**を作りペルシア再攻に備える

2 **古代民主政**の完成

←ペルシア戦争で無産市民が活躍し参政

a **直接民主政**...民会に全市民出席

18才以上の男性のみ = **制限選挙制**

2 古代民主政の完成←ペルシア戦争で無産市民が活躍し参政

a 直接民主政...民会に全市民出席

ただし18才以上の男性のみ=**制限選挙制**

——— ここから

b 抽選で官職決定 c 奴隷制に支えられる

(2) B.C.5C後半、ペロポネソス戦争

...デロス同盟 × vs ペロポネソス同盟(スパルタ中心) + ペルシア ○

∴アテネの民主政が**衆愚政治**におちぶれる

ex. 扇動政治家(デマゴーゴス)の害 T.Q.「ポリスの民主政は

(4) ポリス崩壊

今日とどう異なるか?

教科書P.24~

∴**傭兵**(ようへい)**使用の流行**←公共心の低下

→B.C.338、**カイロネイアの戦い**... **マケドニア王国**(フィリッポス2世)
にアテネ・テーベ敗北 **※5**

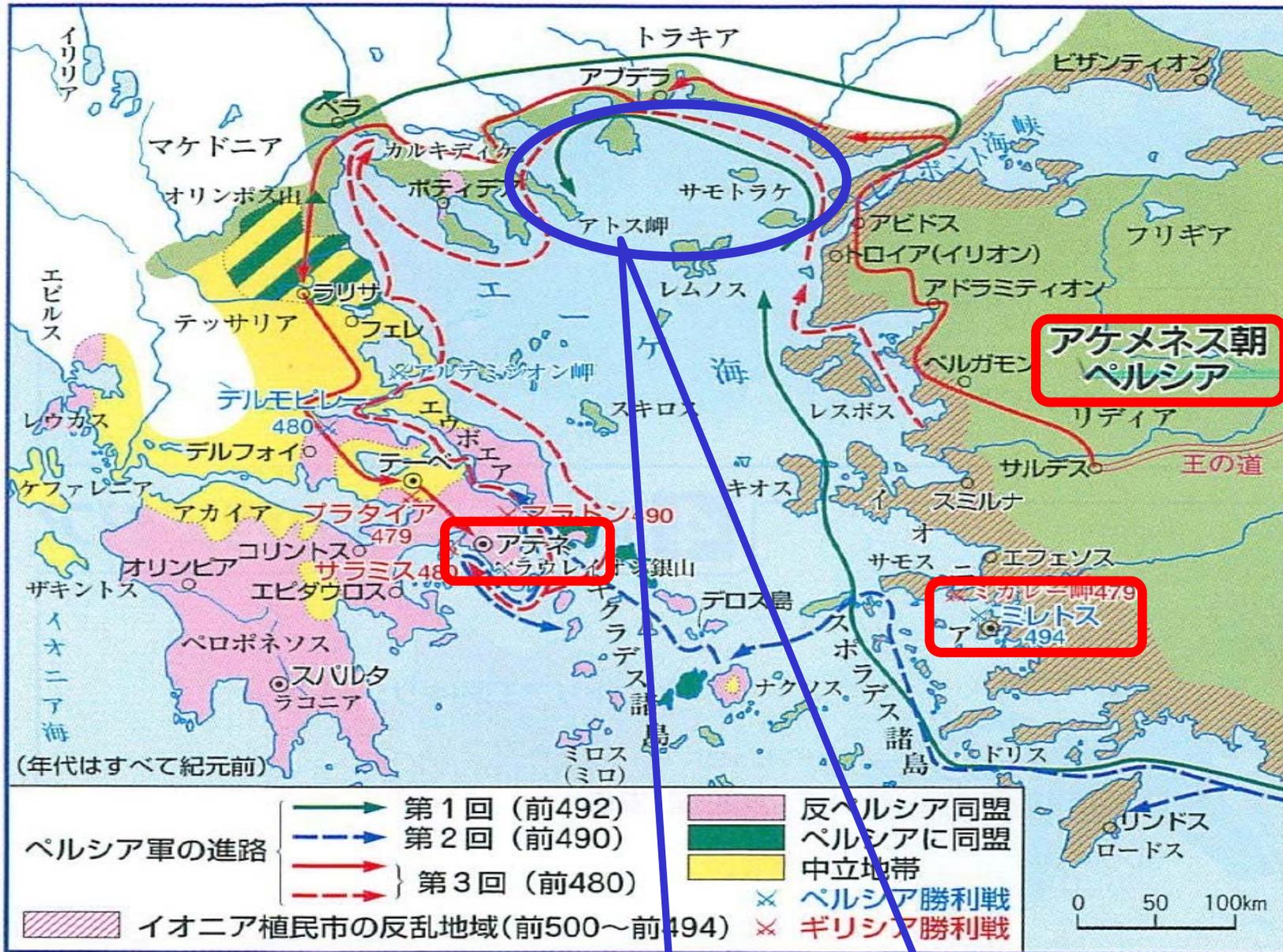
(5) マケドニアが全ギリシア制圧

※T. A. まとめスライドへ

最後のスライドはここまで!

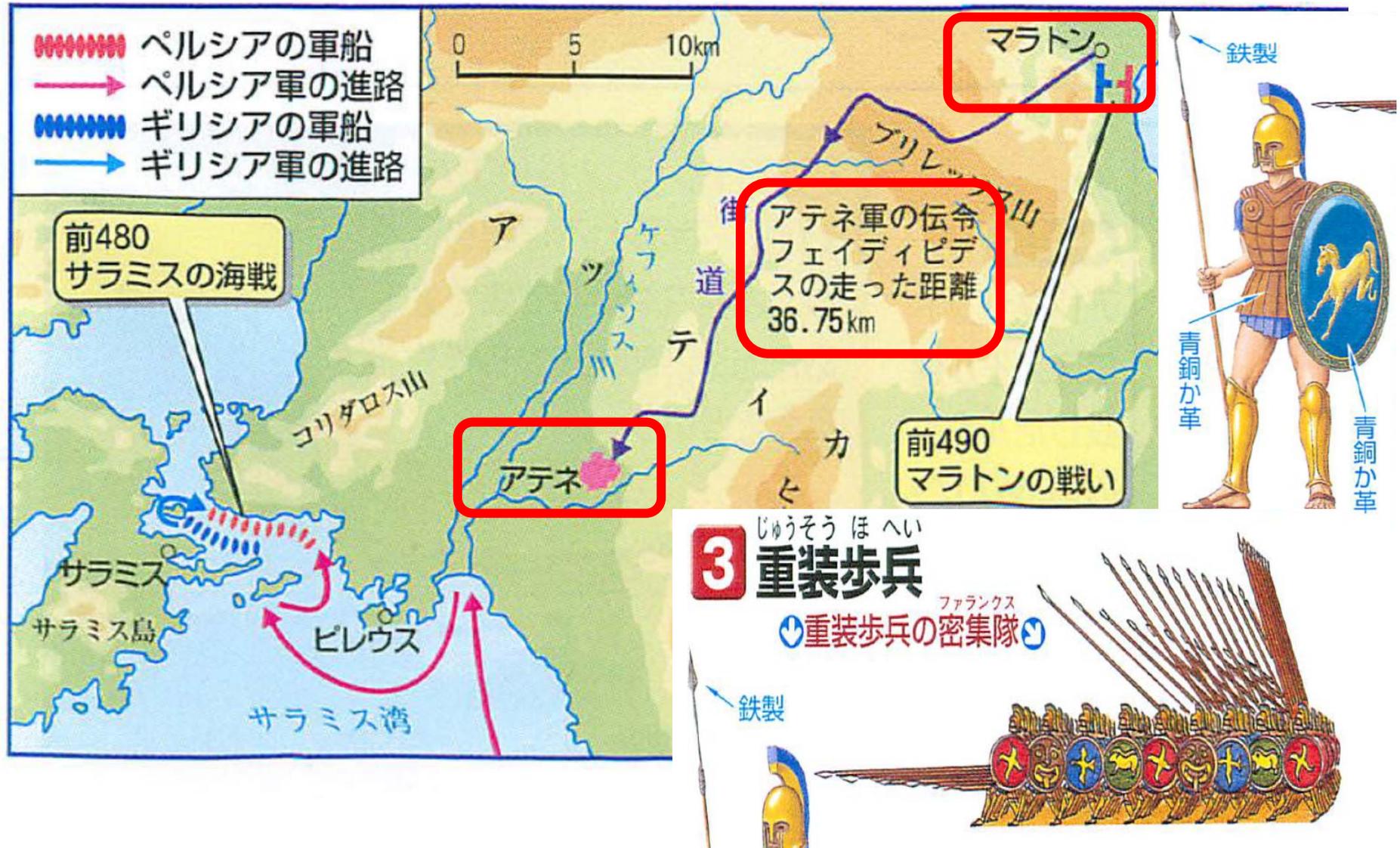
5 ペルシア戦争(前500~前449年)

※1



クリックで、嵐のため難破し失敗した第1回ギリシア侵攻

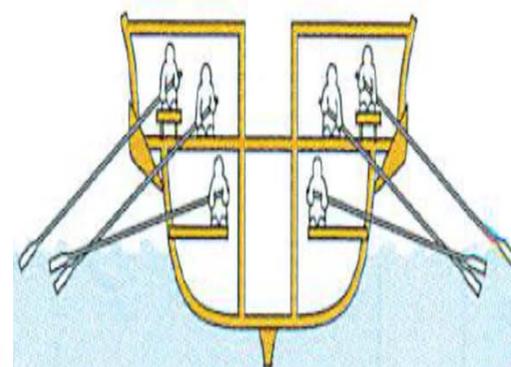
● マラトンの戦い(前490年)とサラミスの海戦(前480年)



クリックで、マラソン競技と42.195kmのルーツ
 (実測されるまでは、約40kmだと考えられていた！)

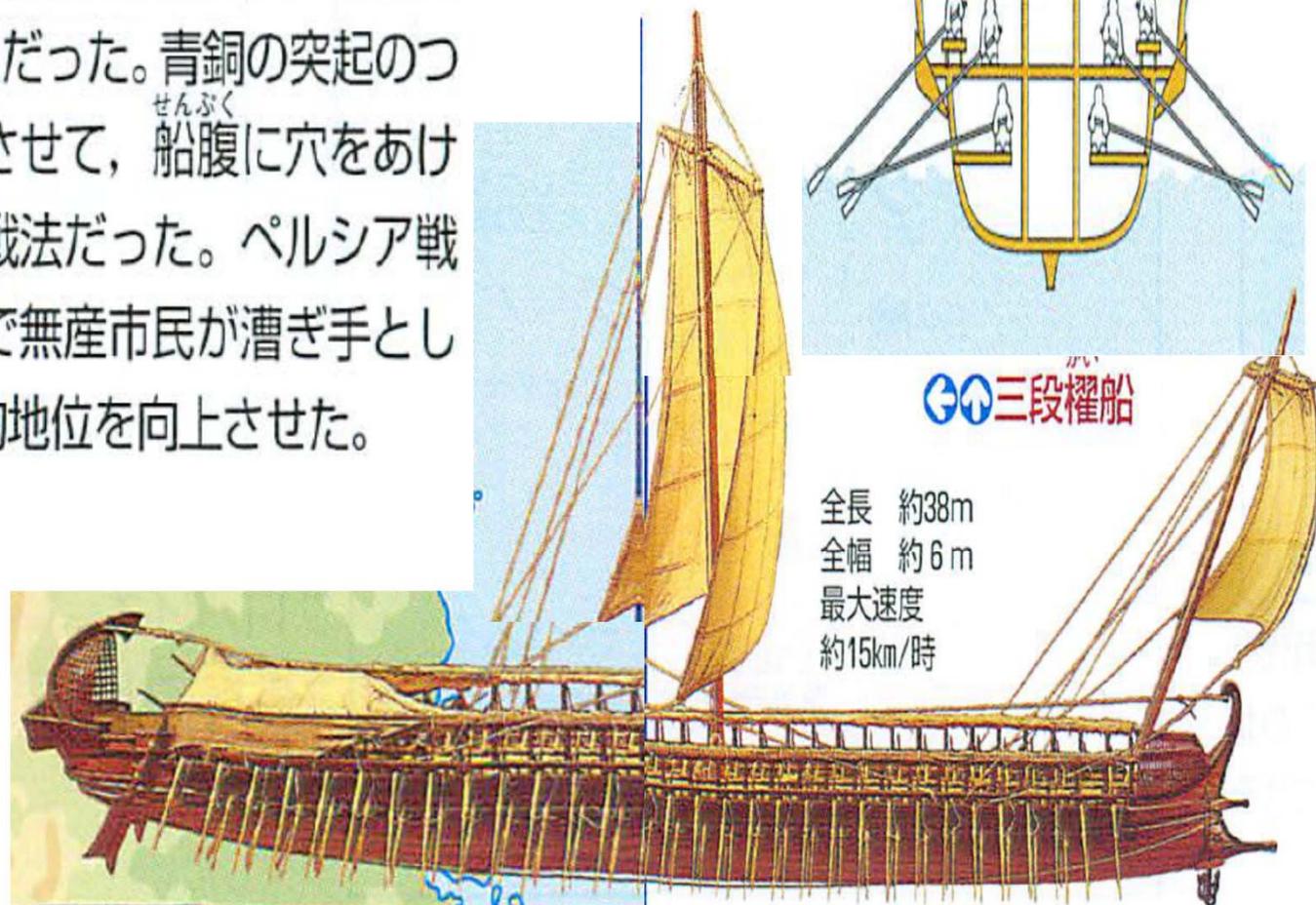
↓ **ギリシアの軍船** アテネの軍船は櫂が三段になっており、乗組員は漕ぎ手170人、士官20人、水夫4人、戦士10人だった。青銅の突起のついた船首を敵船に衝突させて、船腹に穴をあけ沈没させるのがおもな戦法だった。ペルシア戦争ではサラミスの海戦で無産市民が漕ぎ手として活躍し、戦後の政治的地位を向上させた。

最長のオール（櫂）の長さ約4.3m



三段櫂船

全長 約38m
全幅 約6m
最大速度
約15km/時



クリックで、断面図とオール（櫂）の長さ

史料

ペリクレスの 戦没者葬送演説



③ペリクレス

(前495頃～前429)

15年連続して将軍職を務め「ペリクレス時代」というアテネ最盛期を築いた。

↑解説

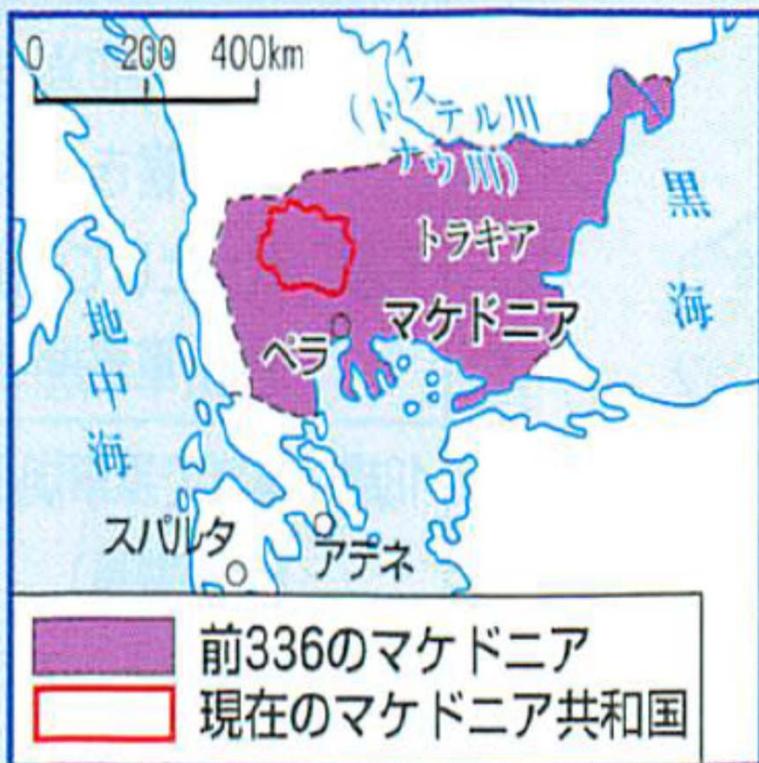
ペリクレスがペロポネソス戦争第1年目の戦没者の埋葬にあたり、アテネ民主政に対する誇りと自信を表明したもの。

クリックで演説

※4

われらの政体は他国の制度を追従するものではない。ひとの理想を追うのではなく、ひとをしてわが範に習わしめるものである。その名は、少数者の独占を排し多数者の公平を守ることを旨として、民主政治と呼ばれる。わが国においては、個人間に紛争が生ずれば、法律の定めによってすべての人に平等な発言がみとめられる。だが一個人が才能の秀でていることが世にわかれば、輪番制に立つ平等を排し世人のみとめるその人の能力に応じて、公の高い地位を授けられる。 (『世界の名著』中央公論社)

●マケドニア王国



↑解説 アレクサンドロス時代の古代マケドニア王国はギリシアの北、トラキアの広大な領域。現代ではその中心部分のみを指す。

👉 **フィリッポス2世** (位前359～前336)

クリックで、
マケドニア王
フィリッポス2世 (金貨)

(フランス国立国会図書館蔵)



世界史B 授業No.9

T.Q.「ポリスの民主政は今日とどう異なるか？」

代表的なポリス、アテネの民主政は、民会に成年男子市民が全員参加した直接民主政であり、女性や在留外人には参政権のない制限選挙制で奴隷制の上に立っていた。また、特別なもの以外は全ての官職が抽選で市民に開放されていた。しかし民主政の落とし穴である衆愚政治に陥り、スパルタとのペロポネソス戦争に敗れる。その後ギリシアではペルシアに操られてポリス同士の戦争が続き、市民は土地を失う。それで傭兵の使用が流行したが、結局北方ギリシア人のマケドニア王国にポリス連合軍は敗れてしまった。